

「バリアフリーに関するアンケート調査」ご協力をお願い（案）

日頃より板橋区政に、格別なご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

板橋区では、「板橋区バリアフリー推進条例」に基づき、平成 15 年に「板橋区バリアフリー総合計画」を策定しました。この計画では、「すべての区民が自由に行動し、社会参加できるまち板橋」を理念として掲げ、バリアフリーの推進に関連する施策を進めています。

現在、計画期間（平成 15 年度～平成 27 年度）の中期にあたりますが、今後進めていくバリアフリー施策について、継続的な発展を図るためには、区民の皆様の声が不可欠です。

このたび、①移動②建築物③住まい④情報⑤心のバリアフリーについての 5 つの課題と⑥今後の重点施策について、皆様のご意見をお聞かせいただきたく、アンケート調査を実施いたします。本アンケート調査の結果を、今後のバリアフリー施策の展開に活かしていきたいと考えておりますので、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。
平成 21 年 1 月

【お問い合わせ先】 板橋区福祉部障がい者施設課
〒173-8501 板橋区板橋 2-66-1
電話 03-3579-2365 FAX 03-3964-1371

【ご記入にあたって】

- 回答は、ボールペン、濃い鉛筆などで、この調査票に直接記入してください。
- この調査票はお送りした封筒の宛名の方がお答えください。
事情により、ご本人の記入が難しい場合は、ご本人の意向を聞いて、ご家族の方がご記入ください。
- 調査の結果は、バリアフリー施策の基礎資料として統計的な分析のみを行います。ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ございません。ご自身のお気持ち・ご意向に一番あてはまる回答をご記入ください。
- ご記入が終わりましたら、記入もれなどが無いとお確かめの上、この調査票を同封の返信用封筒（切手はいりません）に入れて、平成 21 年 1 月 22 日（木）までにご投函ください。

しめきり：平成 21 年 1 月 22 日(木) まで

※「バリアフリー」とは・・・

バリアフリーとは、高齢者や障がい者の方等が生活するうえで行動の妨げになる障壁（バリア）をなくすことです。障壁（バリア）には、建物のバリア、制度のバリア、情報提供のバリア、心のバリアがあります。

段差をなくしたり、手すりやエレベーターを設置したりするほか、精神的な面での障壁をなくすことも意図しています。

○道路のうち、通行しやすいように整備されていない箇所があれば場所と具体的な内容をお書きください。

場 所 (所在地)	具体的内容

公園について

問 1-4 問 1-2 で「2 公園」と答え方にお聞きします。あなたは、公園を利用しやすくするために、どのような整備が必要だと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(3 つ以内)

- 1 出入口や園内通路の段差をなくしたり幅を広げたりする。
- 2 ベンチなど休憩できる場所を整備する。
- 3 車いすの人や乳幼児を連れた人など、だれもが使いやすいトイレを整備する。
- 4 だれもが利用しやすく、わかりやすい案内標示を整備する。
- 5 視覚障がい者誘導用(点字)ブロックを整備する。
- 6 視覚障がい者が混同しやすい色の組み合わせを避けた案内標示を整備する。
- 7 絵や文字などを併用した案内標示を整備する。
- 8 障がい者用の駐車スペースを整備する。
- 9 その他()

○公園のうち、利用しやすいように整備されていない箇所があれば公園名と具体的な内容をお書きください。

公園名	具体的内容

2 区内の建築物について、整備状況をお聞きします。

問 2-1 あなたは、区内にある下表内の施設を、過去一年間くらいの中に、利用したことがありますか。利用したことがある施設名をすべて選んで番号に○をつけてください。

問 2-2 問 2-1 で○をつけた施設は、下表内の整備項目①から⑨について、あなたが利用しやすいように整備されていると思いますか。あてはまるものを下の枠線内の1~5の中から選んでそれぞれ番号を記入してください。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 整備されている | 2 やや整備されている |
| 3 あまり整備されていない | 4 整備されていない |
| 5 整備の必要を感じない | |

過去一年間くらいの中に利用した施設を選んで番号に○をつけてください。

施設の種類	整 備 項 目								
	① 建物の出入口の整備(段差をなくす等)	② 建物内の通路の整備(幅を広げる等)	③ 階段の整備(手すりを設置する等)	④ だれもが利用しやすいエレベーターの整備	⑤ だれもが利用しやすいトイレの整備	⑥ わかりやすい案内標示の整備	⑦ 視覚障害者誘導用ブロックの整備	⑧ 車いす使用者に配慮した駐車場の整備	⑨ 手話のできる職員の配置、筆談ボードの設置
記入例 4 ファミリーレストラン	1	2	2	4	4	3	3	3	5
1 病院・診療所									
2 スーパーマーケットなどの商店									
3 コンビニエンスストア									
4 ファミリーレストラン									
5 レストランなどの飲食店									
6 銀行など金融機関や郵便局									
7 理髪店・美容院									

問 2-3 あなたは、区内の下表内の公共施設を、過去一年間くらいの中に、利用したことがありますか。利用したことがある施設名をすべて選んで番号に○をつけてください。

問 2-4 問 2-3 で○をつけた施設は、下表内の整備項目①から⑨について、あなたが利用しやすいように整備されていると思いますか。あてはまるものを下の枠線内の1～5の中から選んで番号をそれぞれ記入してください。

1 整備されている	2 やや整備されている
3 あまり整備されていない	4 整備されていない
5 整備の必要を感じない	

過去一年間くらいの中に利用した施設を選んで番号に○をつけてください。



公共施設の名称	整備項目								
	①建物の出入口の整備(段差をなくす等)	②建物内の通路の整備(幅を広げる等)	③階段の整備(手すりを設置する等)	④だれもが利用しやすいエレベーターの整備	⑤だれもが利用しやすいトイレの整備	⑥わかりやすい案内標示の整備	⑦視覚障害者誘導用ブロックの整備	⑧車いす使用者に配慮した駐車場の整備	⑨手話のできる職員の配置、筆談ボードの設置
記入例 1 区役所・区民事務所	1	1	1	2	2	3	2	1	3
1 区役所・区民事務所									
2 地域センター									
3 健康福祉センター									
4 区立図書館									
5 文化会館									
6 区立美術館									
7 郷土資料館									
8 熱帯環境植物館									
9 グリーンホール									
10 体育施設(体育館)									

○区内の施設のうち、利用しやすいように整備されていない箇所があれば名称と具体的な内容をお書きください。

施設名称	具体的内容

3 住まいについてお聞きします。

問 3-1 あなたの住居は次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 持家(一戸建て)
- 2 借家(一戸建て)
- 3 持家(分譲マンション等)
- 4 借家(民間アパート・マンション)
- 5 借家(公社・区営・都営住宅)
- 6 社宅など給与住宅
- 7 その他()

問 3-2 あなたが現在お住まいになっている住宅で、日常生活をする上で障壁(バリア)になっているところがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|------|---|-------------------------|
| 1 ない | → | 「1 ない」方は問 4-1 へお進みください。 |
| 2 ある | ↓ | 「2 ある」方は以下の質問にお答えください。 |

問 3-3 「1 持家(一戸建)」「2 借家(一戸建)」と答えた方で、問 3-2 で「2 ある」と答えた方にお聞きします。障壁(バリア)となっているのは、どこですか。あてはまる番号に○をつけてください。(2つ以内)

- 1 道路から住宅の玄関までの通路(段差がある、幅が狭い等)
- 2 住宅の玄関(段差がある、幅が狭い等)
- 3 住宅内の廊下(段差がある、幅が狭い等)
- 4 階段(手すりがない、傾斜が急等)
- 5 居室(段差がある、狭い等)
- 6 お風呂、洗面所(手すりがない、段差がある、狭い等)
- 7 トイレ(段差がある、幅が狭い等)
- 8 その他()

問 3-4 問 3-1 で「3 持家（分譲マンション等）」「4 借家（民間アパート・マンション）」
「5 借家（公社・区営・都営住宅）」「6 社宅など給与住宅」「7 その他」と答えた
方で、問 3-2 で「2 ある」と答えた方にお聞きします。障壁（バリア）となっ
ているのは、どこですか。あてはまる番号に○をつけてください。（3 つ以内）

- | | | |
|----|-----------------------------------|---|
| 1 | 共用部分の道路から住宅の出入口までの通路（段差がある、幅が狭い等） | |
| 2 | 共用部分の通路（段差がある、幅が狭い等） | |
| 3 | 共用部分の階段（手すりがない、傾斜が急等） | |
| 4 | 共用部分のエレベーター（幅が狭い、手すりがない等） | |
| 5 | 住宅の玄関（段差がある、幅が狭い等） | |
| 6 | 住宅内の廊下（段差がある、幅が狭い等） | |
| 7 | 階段（手すりがない、傾斜が急等） | |
| 8 | 居室（段差がある、狭い等） | |
| 9 | お風呂、洗面所（手すりがない、段差がある、狭い等） | |
| 10 | トイレ（段差がある、幅が狭い等） | |
| 11 | その他（ | ） |

問 4-3 あなたは、過去一年間くらいの中に、インターネット（ホームページの閲覧や電子メールの利用）を利用しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1 しない	→	「1 しない」方は問 4-5 へお進みください。
2 した	↓	「2 した」方は以下の質問にお答えください。

問 4-4 利用した方にお聞きします。困ったことはありますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

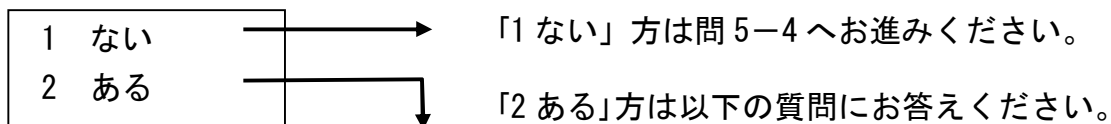
1 画面の表示やデザインが見づらい
2 書かれている内容が難しい、わかりづらい
3 キーボードや周辺機器、ソフトウェアが操作しづらい
4 音声が聞きづらい、わからない
5 点字ディスプレイ、ジョイスティック、読み上げソフト、その他の補助機器・ソフトウェアの開発普及や操作性が不十分
6 使い方を教えてくれる人が身近にいない
7 機器や通信にかかる費用が高い
8 その他（)
9 困っていることはない

問 4-5 利用しない方にお聞きします。インターネットを利用しない理由は何ですか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1 設備、環境や条件が整っていなかった →具体的に ()
2 利用の仕方がわからない
3 必要な介助などのサポートや情報が得られなかった
4 必要がなかった
5 その他 ()

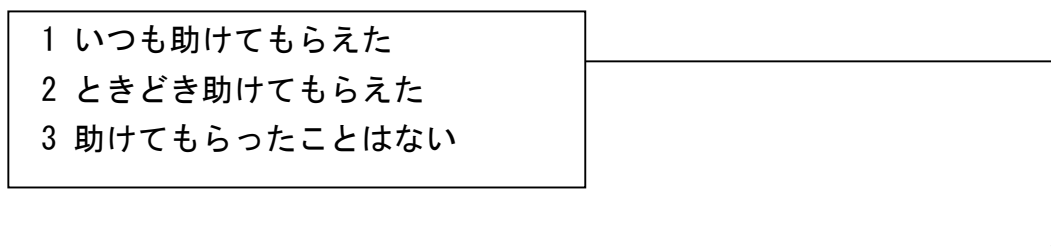
5 障がい等に対する理解など、心のバリアフリーの問題についてお聞きします。

問 5-1 あなたは、過去一年間くらいの中に、外出の際に誰かの手助けが必要と感じたことはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。



問 5-2 問 5-1 で「2 ある」と答えた方にお聞きします。どのような手助けが必要でしたか。下表の「問 5-2」欄にいくつでも○をつけてください。

問 5-3 また、そのとき助けてもらえましたか。「問 5-2」欄に○をつけた項目について、下の枠線内の 1~3 からあてはまる項目を選んで、「問 5-3」欄に番号をお書きください。



	誰かの手助けが必要であると感じたこと	問 5-2	問 5-3
①	荷物を持つのを手伝ってほしかった		
②	横断歩道や通行しにくい道路で、誘導したり、手を引いたりしてほしかった		
③	階段の昇り降りの際に手助けがほしかった		
④	電車、バスの乗り降りの際に手助けがほしかった		
⑤	車いすを押したり、持ち上げてほしかった		
⑥	乗り物などで席を譲ってほしかった		
⑦	道を教えてほしかった		
⑧	駅のエレベーターを譲ってほしかった		
⑨	扉を開けてほしかった		
⑩	体調が悪いときなど、声をかけたり、家族などに連絡してほしかった		
⑪	その他 ()		

問 5-4 あなたは、過去一年間くらいの中に、外出の際に他の区民の理解を得られないために困ったことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1 ない	→	「1 ない」方は問 5-6 へお進みください。
2 ある	↓	「2 ある」方は以下の質問にお答えください。

問 5-5 問 5-4 で「2 ある」と答えた方にお聞きします。それは、どのようなことですか。あてはまる番号に○をつけてください。（3つ以内）

1 視覚障がい者誘導用ブロック上への自転車等の駐輪
2 身体障がい者用駐車スペースへの駐車
3 歩道上への自転車等の駐輪やみだし看板など
4 電車、バスなどの車内での他の乗客の理解のない態度
5 その他
()

問 5-6 高齢者、障がい者等の円滑な移動や施設の利用のためには、区民一般の理解と協力、いわゆる「心のバリアフリー」の推進が不可欠です。この「心のバリアフリー」の推進のためには、どのような取組みが有効だと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。（3つ以内）

1 セミナーやシンポジウムなどによる啓発活動
2 障がいのある方等による演劇、コンサートなどの開催
3 障がいのある方等とともに行うスポーツなど交流の場の促進
4 障がいのある方等を理解するための冊子類の配布
5 学校教育のなかでの心のバリアフリー教育の充実
6 広報やポスターなどによる啓発活動
7 街頭キャンペーンや集客イベントを定期的な開催
8 その他
()

6 だれもが、支障なく移動でき、さまざまな施設やサービスを円滑に利用できるようにするための施策についてお聞きします。

問 6-1 今後、板橋区が優先して取組む必要があると思うものはどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(3つ以内)

- 1 コンビニエンスストアやファストフード、ファミリーレストランなど小規模な建築物のバリアフリー化
- 2 既存建築物のバリアフリー化
- 3 店舗内部のバリアフリー化
- 4 住宅のバリアフリー化の促進
- 5 商店街などコミュニティ空間のバリアフリー化の促進
- 6 心のバリアフリーの推進とマナーの向上
- 7 文化施設・スポーツ施設などのバリアフリー化の促進
- 8 建物、道路、公園、公共交通施設などの連続的、一体的な整備の促進
- 9 福祉タクシーなど、多様な移動手段の整備、確保

○その他優先して取組む必要のある施策があればお書きください。

あなたご自身のことについてお答えください。あてはまる番号に○をつけてください。

問1 あなたの性別をお答えください。

- 1 男
- 2 女

問2 あなたの年代をお答えください。

- 1 18～24 歳
- 2 25～29 歳
- 3 30～34 歳
- 4 35～39 歳
- 5 40～44 歳
- 6 45～49 歳
- 7 50～54 歳
- 8 55～59 歳
- 9 60～64 歳
- 10 65～69 歳
- 11 70～74 歳
- 12 75～79 歳
- 13 80 歳以上

問3 あなたがお住まいの地区はどこですか。

- 1 板橋地域 (板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見)
- 2 常盤台地域 (大谷口・常盤台・桜川)
- 3 志村地域 (清水・志村坂上・中台・前野)
- 4 赤塚地域 (下赤塚・成増・徳丸) ※ ()内は地域センター名です。
- 5 高島平地域 (蓮根・舟渡・高島平)
- 6 わからない (お住まいの場所をご記入ください。板橋区()町)

問4 最後にあなたのお身体の状況についてお聞かせください。

<p>障害者手帳などを持っていますか。 あてはまる番号に○をつけてください。 等級をご記入ください。</p>	<p>1 持っていない 2 身体障害者手帳を持っている ⇒ (級) ①視覚(級) ②聴覚・平衡機能(級) ③音声・言語・そしゃく機能(級) ④肢体不自由(級) ⑤内部障害(級) 3 愛の手帳を持っている(度) 4 精神障害者保健福祉手帳を持っている(級)</p>
<p>要介護認定を受けている方は、あてはまる番号に○をつけてください。</p>	<p>1 要支援 2 要介護1 3 要介護2 4 要介護3 5 要介護4 6 要介護5</p>
<p>外出時に、車いす、つえ、手押し車などを使用しますか。 あてはまる番号に○をつけてください。</p>	<p>1 使わない 2 手動車いすを使う 3 電動車いすを使う 4 つえ(視覚障害者用を除く)を使う 5 視覚障害者用のつえを使うか、ガイドヘルパー、付き添いなど視覚の手助けを必要とする 6 手押し車やシルバーカートを使う 7 補聴器を使うか、手話通訳者、付き添いなどの聴覚の手助けを必要とする</p>

ご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて(切手はいりません)ご投函ください。